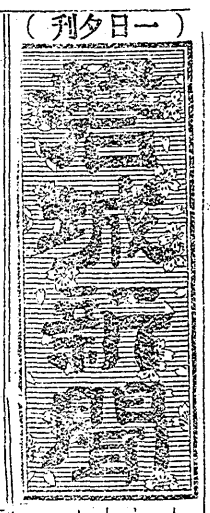
（一日夕刊）

休刊日毎月一回第三日曜
定價一ヶ月金拾錢郵稅十五錢
廣告料　普通欄十行金壹圓
日刊全國唯一の藝妓新聞
藝妓新聞社
東京市麻布區霞町十六番地
發行所　電話五六四番



思ひ出草（12）

哲村

古いスクラップブツクから

◇

明治十何年頃の事であつた。麻田の宿に漢學の一家塾があつたそこの先生は水戸生れの横田砂と云つて始めて塾を開いた時の年齢は僅に十八歳と云ふ少年

◇

今どきなれば阿母から小遣ひ錢を强請つて飴玉を頬張り乍らキャッチボールでもするといふ年輩だが此先生それでも本職の漢籍は勿論のこと詩をよくして歌に非凡その上書に至つては眞に神韻漂渺先生を知るもの均しく之れを異とした

◇

而して蝟座一番、手にせる扇を斜に構へ軍談師そつちのけのゼスチューアで外史の講釋をする處。そこには通りがゝりの駄賃つけが馬を傍め物賣りは荷を卸して之れに聽き惚ると云つた有樣

◇

尚當時の學者として淑人君の免考瀧川先生がある敬神崇祖の觀念で固まつた人で一日隣室で當時豪放磊落で知られてゐた製藥王の乃父是喜三太氏が酔餘神樣の事を豪かに描寫し、原作の氣分表現に萬全を期してゐる

〔略筋〕——

近くに温泉場を控へた色街の一軒にいつみ屋といふのがある、絹代はそこの抱へ妓だつた。遊治な温泉客を日夜相手にしてゐる彼女が全く素直な温順な妓だつたので、天性の美貌と共に情話ではない、藝技物に特有の愛を交へず、金錢の玩弄物視され易い藝妓を尊い一個の人格として取扱つた作品。この劇筋は春の藝妓物に一[illegible]

[illegible]

[illegible]

外出不在其他の事故で
國勢調査員一同面食ふ
取り纏めに豫想以上の苦辛
引き上げは夜に入る模樣

今曉の國勢調査に就き平町では三十九名の調査員と十一名の補助員（役場吏員）と合計五十名が今朝來谷受持區内を廻り歩き申告書の取纏めに奔走してゐるが既に豫習その他により鋭意申告に關する豫備智識を注き込んで置いたに拘はらず多忙なる日常のしごとについ失念して他出してしまつた不在者なども少からず雜多な支障の爲めに全部を取りまとめる迄にはなみ大抵の骨折りではないらしく關係者の引き上げは本日の夜に入るものと觀られてゐる

明るい鎌田暗い刑務所
國勢調査珍風景

今回の調査に當り平町に於て本人自身所定の申告をなし得なかつたものは刑務支所拘留の十八名平署留置中の六名計二十四名であるがこの外旅館宿泊中のもの百三十人あり更らに振つてゐるのは十年一度の國家的大事業たる本調査に當り長驅鎌田の一廓に華胥の夢を貪つてゐた十五名で南町方面の潜航的脱溺の數は今の處判つてゐない

碎けた知事さん
國勢調査事務關係者自署の葉書に大喜び

國勢調査質施に當り小柳知事は自書石刷摺を以て縣下市町村長、國勢調査員、統計調査嘱託總計六千六百二十名に對し努力を乞ふ旨依頼狀を發したが、これは何しろ知事として前代會てないくだけ方なので非常に評判がよく、小柳知事から直接ハガキを貰つたといふので大したよろこびでそのハガキはそれに記念切手をはつて保存する向が多い

調査結果は
十二月廿日頃判明の見込み

一日行はれた國勢調査に依る人口其他調査結果の判明するは來る十二月二十日頃であると

卅秒停車は一列車丈け
時間改正と平驛

今一日から汽車時間が短縮された結果今迄よりは少し早目に目的地へ達する事となつたが平驛通過の列車で卅秒停車は平、土浦間上り六時卅六分のみで他は從來停車時間の二分の一である

北目に郵便局
附近住民大喜び

平町北部方面が最近人口変遷非常に增加して來た爲め遞信當局では同方部に郵便局三等郵便局を新設すべく計畫調査を進めて來た結果愈々その筋で新設と決定した、尚三等局新設決定を知つた同方部では非常に喜んでゐるが既に野心家間には猛烈な運動が開始されてゐるが新三等局は大體北目町に設置される模樣らしい

勿來で擧町一致の緊縮
石城郡勿來町では

二十八日午後三時から同町才二尋旅館内に本縣對策座談會を開催出席者は同町會議員金部であつたが座談會では明年度には當然各町村の豫算を緊縮せねばならないのこれに伴ひ各種目共削減を計る必要があり先づ町議の費用辨償一圓を五十錢に引下町會時間は午後一時から時間勵行一般町内の各種儀式に範を示す

四倉繭市況
四倉繭市場三十日の相場は總數九百三貫二百五十匁代金一千五百四十八圓七十一錢最高二圓六錢最低一圓三十三錢買馴一圓七十一錢累計數二萬五千百三十七貫代金四萬七千九百七十三圓八百二十錢繭目は十八で郡下に於ける昨今の自動車界は平、湯本間の營業者は激增振りは實に著しく自動車の競爭の結果共倒れの狀態に陥るので昨報の如く卅日から平署留置中の營業者八十六名、車庫二百五十臺、運轉手二百十五名、助手二百名の多きを算し昨年の營業者七十八名、車体二百十二臺、運轉手二百十二名、助手百八十名に較べると營業者八名、車体三十八臺、運轉手三十八名、助手三名の激增に對し時代に取残された人力車は漸次その影を消し現在平署管内の數は四十六臺で昨年よりも三臺の減を示し盆盛期の大正十年頃と比較すれば三分の一位なもので現今では自動車の通行させる片隅舎か遊廓往復或ひは停車場からの荷物運びが關の山でその結果人力車夫の多くは田樂屋支那そば屋、アイス屋、金鍔燒等に商賣換えそし時勢の變移を嘆いてゐるが影響はひとり人力車夫に止まらず地方に於ける貸車業、土木、砂運ひの日雇業、などにも大なる脅威を加へてゐる尚ほその筋では始めての試みとして平警察署内に湯本、

時代に取殘された人力車夫の悲哀
平管内の自動車二百五十各方面に種々な響き

郡下に於ける昨今の自動車界は平間自動車路線所有者をあつめ小林保安課長臨席の上左記事項を協定し今一日より之を行ふ事にした

一、午前六時三十分から午後八時三十分まで毎日一臺宛平湯本より發車する事

一、鈴木自動車部は從來の十臺を七臺吉田自動車部は五臺を四臺溝樂自動車部は四臺を三臺佐藤自動車部は三臺を二臺に各々制限する事

一、午前六時三十分より午後八時三十分までの運行は通じて八十四回、之れを車臺數十六臺に除する時は一臺に付運回總數四臺を余す此四臺は鈴木自動車部の小名濱町より平へ廻る時の權利をなさしめる事を承認す

四、自動車發着場所は湯本平驛前に設け各一ケ所とす

五、此協調自動車は別に定めるマークを車臺前方に貼付し一見大衆の目印とする事

本縣が明年度豫算に總工費約五十萬圓を以て新規事業として計畫した四倉濱漁港修築問題の一部財源である地元四倉町の寄附協定のため船越土木課長路主事は二十九日同町に出張新妻町長と目下接衝中にあるが寄附金額は地元町では五萬圓が目論み縣は十五萬乃至最小限度に見るも十萬圓を負擔して貰ひたい意向を有してゐる即ち地元四倉町の言ひ分としては百萬圓の縣費工事費九百三貫二百五十匁代金一千五百四十八圓七十一錢最高二圓六錢最低一圓三十三錢買馴一圓七十一錢累計數二萬五千百三十七貫代金四萬七千九百七十三圓八百二十錢繭目は十八で郡下に於ける昨今の自動車界は平、湯本間の營業者は激增振りは實に著しく自動車の競爭の結果共倒れの狀態に陥るので昨報の如く卅日から平署留置中の營業者八十六名、車庫二百五十臺、運轉手二百十五名、助手二百名の多きを算し昨年の營業者七十八名、車体二百十二臺、運轉手二百十二名、助手百八十名に較べると營業者八名、車体三十八臺、運轉手三十八名、助手三名の激增に對し時代に取残された人力車は漸次その影を消し現在平署管内の數は四十六臺で昨年よりも三臺の減を示し盆盛期の大正十年頃と比較すれば三分の一位なもので現今では自動車の通行させる片隅舎か遊廓往復或ひは停車場からの荷物運びが關の山でその結果人力車夫の多くは田樂屋支那そば屋、アイス屋、金鍔燒等に商賣換えそし時勢の變移を嘆いてゐるが影響はひとり人力車夫に止まらず地方に於ける貸車業、土木、砂運ひの日雇業、などにも大なる脅威を加へてゐる尚ほその筋では始めての試みとして平警察署内に湯本、

大枚五萬圓の開きで地元寄附に悩む
四倉濱港問題で町と縣の懸引き

本縣が明年度豫算に總工費約五十萬圓を以て新規事業として計畫した四倉濱漁港修築問題の一部財源である地元四倉町の寄附協定のため船越土木課長路主事は二十九日同町に出張新妻町長と目下接衝中にあるが寄附金額は地元町では五萬圓が目論み縣は十五萬乃至最小限度に見るも十萬圓を負擔して貰ひたい意向を有してゐる即ち地元四倉町の言ひ分としては百萬圓の縣費工事費九百三貫二百五十匁代金一千五百四十八圓七十一錢最高二圓六錢最低一圓三十三錢買馴一圓七十一錢累計數二萬五千百三十七貫代金四萬七千九百七十三圓八百二十錢繭目は十八で郡下に於ける昨今の自動車界は平、湯本間の營業者は激增振りは實に著しく自動車の競爭の結果共倒れの狀態に陥るので昨報の如く卅日から平署留置中の營業者八十六名、車庫二百五十臺、運轉手二百十五名、助手二百名の多きを算し昨年の營業者七十八名、車体二百十二臺、運轉手二百十二名、助手百八十名に較べると營業者八名、車体三十八臺、運轉手三十八名、助手三名の激增に對し時代に取残された人力車は漸次その影を消し現在平署管内の數は四十六臺で昨年よりも三臺の減を示し盆盛期の大正十年頃と比較すれば三分の一位なもので現今では自動車の通行させる片隅舎か遊廓往復或ひは停車場からの荷物運びが關の山でその結果人力車夫の多くは田樂屋支那そば屋、アイス屋、金鍔燒等に商賣換えそし時勢の變移を嘆いてゐるが影響はひとり人力車夫に止まらず地方に於ける貸車業、土木、砂運ひの日雇業、などにも大なる脅威を加へてゐる尚ほその筋では始めての試みとして平警察署内に湯本、

當方に手落ありと宮川側から陳謝
理髮業紛糾解決に就て手交した覺書内容

今一日から汽車時間が短縮された結果今迄よりは少し早目に目的地へ達する事となつたが平驛通過の列車で卅秒停車は平、土浦間上り六時卅六分のみで他は從來停車時間の二分の一である

福島モーター平出張所移轉

福島モーター商會では今一日から新に平出張所たる平町三丁目の元郵便局跡に移轉し電話も從來の番號を廢し百八十七番の新呼びにかへたなほ新營業所では今度サービス部を特設して出張所長磯貝信夫氏陳頭に立つて活躍する由

投槍
投稿歓迎

秋の登山

◇

青雲を懷み雄心を懷いて人生に立たんとする青年は是非大望と理想とを活現する要諦である

◇

自然を師友とするものは自然を解せざるべからず、山嶽は自然の殿堂である、千峰趨り萬巒走り風雲雷霆氣象萬千その奇觀その妙觀躍倪じ得べくもない、眞に大自然を体得せしむとするものは、宜しく山に登るべきである

◇

山嶽に登るに心あり、自然を解するに法あり、唯々己れを虚ふするにあるのみ心を虚ふして自然に對すれば、一氣自ら恍惚として直に造化の樞機に參じ心性共に潔れ去りて、我と天地と一體の妙境に入ることが出來る、忽ち塵寰の境に歸るも尚餐廊遊逍遥必腹に滿るの概がある

◇

登山に勝負や名利の念はまつたく禁物である、名利の念勝負の心を懷いて登山するは、これ射利の登山にして山師の山嶽跋渉の類のみ、固より大自然の師友に接せんとするものゝ登山ではない

◇

節は正に仲秋天高く氣澄めりこの快晴に乘じ神身を山靈に托し靜寂の域に入り無我の境に遊ぶときその快やいふべからず、その心や地に求むべからず、青年はよろしく秋の山に登り大自然の啓沃を受くべきである

（みやま生）

狡い男惣八
綴驛で捕はる

内郷村御厩木賃宿出村屋止宿新潟縣三島郡片貝村片貝納豆行商山口惣八（四〇）は三十日午前八時半頃綴驛待合室で休憩中の茨城縣多賀郡瀬本村關本鈴木稻太郎（三九）の側に古新聞紙に入れて居いた四圓五十錢の内二圓を抜取りそれで關本まで四十三錢切符を買ひ殘りを胡魔化そうとしたのを其筋に發見され平署に拘引目下收調中

國勢調査豫習書を法廷に持ち出す
手段を擇ばぬ庶民金庫

信用組合平庶民金庫ではさきに八百圓の現金を融通した平町三丁目旅館山本屋學山本幸平が過般平町を退去して行衛不明となつたので連帶保證人たる同町田町福住館事齋藤男四郎に對し債務の履行を迫つたが埒あかぬため齋藤を相手取り漆畑辯護士を訴訟代理人として該債務履行の訴訟を提したその第一回口頭辯論は昨三十日午前十一時から平區法廷に於て中谷判事係りで開廷されたが組合に關係ある某氏は當日法廷に於て保證人齋藤の主張する「由本の借金は自分の與り知らぬ事である」と云申立を將えすためこの程齋藤の居住する田町區長平澤勝三郎氏方に至り家人より齋藤の署名捺印してある國勢調査豫習書を借り出し組合に保存ある借用書の捺印と對照すべき立證材料としたが由國勢調査の關係書類は當該人と調査期間に限られる秘密書類にして盜聞すべき裁判に持ち出すが如きは甚だ妥當でないと一部識者間の話題となつてゐる國勢調査が生んだ皮肉な副産物である

國勢調査事務關係者
自署の葉書に大喜び

國勢調査質施に當り小柳知事は自書石刷摺を以て縣下市町村長、國勢調査員、統計調査嘱託總計六千六百二十名に對し努力を乞ふ旨依頼狀を發したが、これは何しろ知事として前代會てないくだけ方なので非常に評判がよく、小柳知事から直接ハガキを貰つたといふので大したよろこびでそのハガキはそれに記念切手をはつて保存する向が多い

碎けた知事さん
國勢調査事務關係者自署の葉書に大喜び

國勢調査質施に當り小柳知事は自書石刷摺を以て縣下市町村長、國勢調査員、統計調査嘱託總計六千六百二十名に對し努力を乞ふ旨依頼狀を發したが、これは何しろ知事として前代會てないくだけ方なので非常に評判がよく、小柳知事から直接ハガキを貰つたといふので大したよろこびでそのハガキはそれに記念切手をはつて保存する向が多い

北目に郵便局
附近住民大喜び

平町北部方面が最近人口変遷非常に增加して來た爲め遞信當局では同方部に郵便局三等郵便局を新設すべく計畫調査を進めて來た結果愈々その筋で新設と決定した、尚三等局新設決定を知つた同方部では非常に喜んでゐるが既に野心家間には猛烈な運動が開始されてゐるが新三等局は大體北目町に設置される模樣らしい

勿來で擧町一致の緊縮
石城郡勿來町では

二十八日午後三時から同町才二尋旅館内に本縣對策座談會を開催出席者は同町會議員金部であつたが座談會では明年度には當然各町村の豫算を緊縮せねばならないのこれに伴ひ各種目共削減を計る必要があり先づ町議の費用辨償一圓を五十錢に引下町會時間は午後一時から時間勵行一般町内の各種儀式に範を示す

四倉繭市況
四倉繭市場三十日の相場は總數九百三貫二百五十匁代金一千五百四十八圓七十一錢最高二圓六錢最低一圓三十三錢買馴一圓七十一錢累計數二萬五千百三十七貫代金四萬七千九百七十三圓八百二十錢繭目は十八で郡下に於ける昨今の自動車界は平、湯本間の營業者は激增振りは實に著しく自動車の競爭の結果共倒れの狀態に陥るので昨報の如く卅日から平署留置中の營業者八十六名、車庫二百五十臺、運轉手二百十五名、助手二百名の多きを算し昨年の營業者七十八名、車体二百十二臺、運轉手二百十二名、助手百八十名に較べると營業者八名、車体三十八臺、運轉手三十八名、助手三名の激增に對し時代に取残された人力車は漸次その影を消し現在平署管内の數は四十六臺で昨年よりも三臺の減を示し盆盛期の大正十年頃と比較すれば三分の一位なもので現今では自動車の通行させる片隅舎か遊廓往復或ひは停車場からの荷物運びが關の山でその結果人力車夫の多くは田樂屋支那そば屋、アイス屋、金鍔燒等に商賣換えそし時勢の變移を嘆いてゐるが影響はひとり人力車夫に止まらず地方に於ける貸車業、土木、砂運ひの日雇業、などにも大なる脅威を加へてゐる尚ほその筋では始めての試みとして平警察署内に湯本、

財布はひもしいが上等辨當を食べる
見榮を張る流連の客

平驛の賣れゆき統計

昭和五年九月卅日

井上茂作
野崎滿藏

内臓外科
一般外科
花柳病科
入院隨意
自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番

皆樣の
昭和タクシーは
此際御得意樣本位に
貸切料金の値下斷行
何卒御用命を
平驛前
電三四三
澤正路

吉田眼科病院
平町紺屋町

黒い倉學生服
今年はウンと安くなりました
型も新らしく縫も丈夫に
皆樣にホメて頂ける自信ある
冬服を……澤由揃ました。
特製品 小學生用 長やほんつき 2圓00錢より
特製品 中學生用 3圓00錢より
あかや洋服店
平二 電203

一圓十錢のフランス
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ
生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平一 西村屋藥舗
にはなし 三

植田町本町
前田醫院
…入院隨時… 電一一四番